

(社)日本原子力学会 標準委員会 研究炉専門部会
第19回 放射線遮蔽分科会 (R2SC) 議事録

1. 日時 2010年11月29日 (月) 13:30~16:00

2. 場所 (社)日本原子力学会会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 平山 (主査), 坂本 (副主査), 石川 (幹事), 平尾, 黒澤 (正), 金野,
月山, 森島, 佐藤, 播磨, 徳原, 黒澤 (直), 中田, 清水 (14名)

(代理委員) 小迫 (大石代理) (1名)

(欠席委員) 堂野前, 辻, 山野 (3名)

(事務局) 岡村

4. 配付資料

R2SC19-1 第18回放射線遮蔽分科会議事録 (案)

R2SC19-2 日本原子力学会標準「ガンマ線遮へい計算のためのビルドアップ係数:201〇」

R2SC19-3 ガンマ線ビルドアップ係数標準の作成—放射線遮へい分科会における経緯—

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より, 18名の委員中, 開始時点で15名の出席があり, 分科会成立の要件 (12名以上) を満足している旨の報告があった。

(2) 人事

事務局より, 平山主査の任期が終了したことの紹介があり, 平山主査より主査を交代したいとの発言があった。その後, 出席委員による主査の投票が行われ, 坂本委員13票, 平山委員, 石川委員各1票となり, 坂本委員が主査に選出された。

引き続き, 坂本主査より, 副主査として石川委員, さらに副主査との協議により, 幹事に平尾委員が指名された。

また, 専門部会には, 坂本主査が代表者として出席することとした。

(3) 前回議事録案の確認

坂本主査から, 前回議事録 (案) の紹介があり承認された。(R2SC19-1)

(4) ガンマ線ビルドアップ係数標準の作成経緯について (R2SC19-3)

作業会主査の清水委員より、R2SC19-3に基づき、ガンマ線ビルドアップ係数標準の作成経緯について説明が行われた。

(5) 標準「ガンマ線遮へい計算のためのビルドアップ係数：2010」(案) について (R2SC19-2)

作業会主査の清水委員及び各作業会委員より、R2SC19-2に沿って、担当箇所の説明が行われた。審議の結果、本標準原案を一部修正の上、専門部会、標準委員会に中間報告することが決議された。

主な審議内容

- ・ 3.1 と 3.1.1 の用語と定義の組合せが逆になっている。
 - 訂正する。
- ・ “または”の前に，“，”が入っているところと入っていない所がある。
 - 長い文では入れることとしているが、再度確認して必要に応じて修正する。
- ・ P. 42, 43 の解説図 5.1～4 は、標題はセンチメートル、図の中は cm となっていて気になる。
 - 図の中に入れるにはカタカナは長すぎる。
 - 実効線量に関する標準であるのに、なぜタイトルで 1cm 線量当量が先なのか。
 - もともと従来の 1 cm 線量当量に対してどう変わるかを示す図であったため
 - 特に順番によって重要性を示すものではない。そのままでも良い。
 - 測定は 1cm であるので、現在でもこの図を示すことの意味は失われていない。
- ・ 4.1 のタイトルは、修正されていない。解説の 4.1 も同様。
 - 訂正する。
- ・ コメント 11 で、解説 5.4 を “関する” から “に対する” に変更しているが、追加したところに “関する” という表現がある。
 - 基本的に “に対する” に統一する。特別な理由がある場合のみ “関する” とする。
- ・ P. 45 解説 6.1 の 5 行目に、(解説表 6.1.2・・・) という誤植 (. が重複) がある。
 - 訂正する。
- ・ P. 78 解説 III に、近く ICRP108 として公刊されるとの表現があるが、ICRP108 は別のレポートとして公刊されているのではないかと。
 - 確認し、108 を削除又は修正する。

(6) 「放射線遮へい計算に用いる線量換算係数：2010」の発行の報告

石川幹事より、「放射線遮蔽計算のための線量換算係数：2010」が 10 月 20 日に発行されたことが報告された。

(7) 今後の進め方について

今後、本報告に向けたスケジュールをどうするか議論を行い、3月の基盤・応用技術専門部会への本報告を目指すこととした。

6. 今後の予定

次回分科会の日程は、3月の基盤・応用技術専門部会前に作業の進捗を見て別途調整することとした。

以 上